

浜松町駅西口地区 まちづくり News

2018年9月吉日 発行

ごあいさつ

現在進行しております浜松町駅西口地区の開発事業は、事業主体毎にA街区・B街区・C地区の3つの街区・地区に分かれております。今年度より、この3つの街区・地区が一体となって、地域全体の価値を高め、地域の交流を促し、浜松町エリアの持続的な発展に寄与することを目的とした地域活動を行っていくことといたしました。全ての開発が完了し、街が完成するのは、今から約10年後の2027年度を予定しておりますが、この3つの街区・地区で協力し合い、地域の皆様のご協力もいただきながら、工事期間中からさまざまな活動を行っていきたくと考えております。その活動のひとつとして、浜松町エリアの魅力等を発信するまちづくりNewsを発行いたしました。今後も定期的に、このようなまちづくりNewsを発行していければと考えておりますので、手に取っていただけましたら幸いです。



<旧芝離宮恩賜庭園より>

「だらだら祭り」今年度は2018年9月11~21日に開催！

今回は、浜松町地域と関係が深い芝大神宮と「だらだら祭り」について紹介したいと思います。

1. 芝大神宮について



(出典:芝大神宮)

芝大神宮は、伊勢神宮の御祭神、天照皇大御神（内宮）、豊受大神（外宮）の二柱を主祭神としてお祀りしています。御鎮座

は遠く平安時代、寛弘二年(1005年)一条天皇の御代に創建された由緒あるお社です。

古くは、飯倉神明宮・芝神明宮と称され鎌倉時代においては、源頼朝公により篤い信仰の下、社地の寄贈を受け、江戸時代においては、徳川幕府の篤い保護の下に社頭は賑わい、大江戸の大産土神として関東一円の庶民信仰を集め、「関東のお伊勢さま」として数多くの人々の崇敬を受けました。その当時の盛況は、広重の錦絵に窺うことができます。

その後の当宮の社史をみますと、明治、大正、昭和初期の関東大震災、太平洋戦争の激動期においても、数多くの苦難にも耐えて氏子並びに崇敬者に支えられ現在の御社殿に至ります。(出典:芝大神宮「社史 平成十七年」)

2. だらだら祭りの由来

例大祭は「芝大神宮のだらだら祭り」と言われ、お祭りの期間が十一日間も続くことから、日本一長いお祭りとして有名です。江戸時代には「関東のお伊勢さま」と称され、関東近県から参拝者がひきもきらずに訪れ、だらだらとお祭りが続いたことから、そう呼ばれていたとも言われています。

また、だらだら祭りは、別名「生姜祭」とも言われ境内には生姜小屋が設営され、甘酒接待や千木篁の実演販売も行われ、お祭りを盛り上げています。九月十六日の例大祭祭儀日をはさんだ前後二日間くらいに江戸囃子など様々な催し物も予定されています。(出典:芝大神宮「神明暦」)

3. 2018年の日程と見どころ

今年度は宮大神輿渡御が行われます。平成二十年九月「宮神輿神霊式」が斎行され、芝大神宮に宮神輿が誕生しました。宮神輿とは、神社が所有し、神幸の際に神様が乗る神輿です。本祭りと同陰祭りの間に位置する今年度は、宮神輿渡御が予定されています。本年の大祭は三十年にわたった平成時代最後の記念すべきお祭りです。今年の「だらだら祭り」はひと味違います。(出典:芝大神宮「芝神明だより 2018/7~10月」)



(出典:芝大神宮「神明暦」)

宮大神輿渡御 巡幸図

芝大神宮 だらだら祭 平成30年9月17日(祝)



「インフォメーションスペース」を設置します

今年の例大祭に合わせて、世界貿易センタービルディング 1階エントランス付近において、インフォメーションスペースを設置します。だらだら祭りの紹介のほか、周辺観光のご案内、そして開発事業の概要について展示いたします。是非お気軽にお立ち寄りください！

| | |
|-------------------------------|----------------|
| 18(火),20(木) | 12:00~15:00 設置 |
| 11(火),12(水),14(金),19(水),21(金) | 16:00~19:00 設置 |
| 15(土),16(日),17(祝・月) | 10:00~18:00 設置 |

浜松町駅西口地区開発の概要を紹介します

A・B街区は、東京都市計画都市再生特別地区の一つであり、2013年3月に都市計画決定の告示を受けました。東京の玄関口である浜松町駅のポテンシャルを活かしながら、にぎわいにあふれた国際性豊かな交流ゾーンの形成や東京モノレール浜松町駅の建替え、バスターミナルの再整備などによる浜松町駅周辺の交通結節機能の強化を図ります。

C地区は、2017年1月に都市計画決定の告示を受けました。浜松町駅西口地区地区計画で定められたエリア全体のまちづくりの方針を踏まえ、A・B街区の計画と連携し、機能補完を図りながら、市街地再開発事業により「都市にうるおいとにぎわいをもたらす多様な機能の導入と、駅と周辺市街地をつなぐ結節点となる安全で快適なまちづくり」を目指します。



A街区(世界貿易センタービルディング本館・ターミナル・南館・モノレール浜松町駅)

- 事業者 (株)世界貿易センタービルディング、鹿島建設(株)、東京モノレール(株)、東日本旅客鉄道(株)
- 建物用途 事務所、店舗、駐車場、地域冷暖房、駅舎、バスターミナル等
- スケジュール 2021年1月 南館竣工(予定)
2027年12月 A街区全体竣工(予定)



B街区(日本生命浜松町クレアタワー)

- 事業者 日本生命保険相互会社、(株)大林組
- 建物用途 事務所、店舗、カンファレンス、駐車場等
- スケジュール 2018年8月 竣工

C地区

※再開発組合設立後、情報公開

「日本生命浜松町クレアタワー」が竣工します

2018年8月末に竣工の「日本生命浜松町クレアタワー」は、日本生命保険相互会社と株式会社大林組による共同事業として、3地区(A・B街区、C地区)の中で最初に開業する大規模開発ビルです。

建物計画は、延床面積約10万㎡、地上29階・地下3階、高さ156m。オフィス、商業が整備されるほか、国際会議も開催可能なカンファレンス施設「浜松町コンベンションホール」が10/1に開業する予定です。

都営地下鉄大門駅と直接つながる地下の接続通路を開通させるとともに、地上へのアクセスとして、駅・建物・まちをつなぐ「ステーションコア」を計画し、将来的に浜松町駅への動線となる3階デッキが整備されることで、各交通機関の乗換動線を強化し、地域の利便性向上に寄与します。



クリーンアッププロジェクトを実施しました

浜松町駅西口地区の美観促進を目的に、清掃活動を実施していきます。

第1回目は6/15(金)に、開発事業者25名が参加し、街区の周りを中心に実施しました。

第2回は、9月に実施予定です。



本 News に関するお問合せ

発行：事務局 株式会社アバンアソシエイツ
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-11-3 / avant.areamanagement@gmail.com

(※)本Newsの無断転載、無断引用はご遠慮下さい。

(※)本Newsに掲載しているパースには、現時点の計画を表現したパースが含まれており、これについては今後の関係者との協議等により変更となる可能性があります。